（一行あける 行間16pt）

　マージン 左右 18mm 上下25mm

2021年度関西地方学術講演会用原稿のスタイルサンプル

ゴシック・Arial 14pt表題26字以上は2行に

－Ms Wordでの作成例書式入りバージョン ゴシック・Arial 10.5pt 行間16pt－

（一行あける 行間16pt）

精密大学　○関西太郎，支部次郎　　明朝文字10p行間16pt

○登壇者につける

（一行あける 行間16pt）

要 　項　（ゴシック9pt 行間1行）

本研究では、学術講演会原稿はA4判の白紙にワープロで作成することを基本といたします。したがって、学会より原稿用紙を送付いたしませんので下記にしたがって原稿を作成してください。

（1行あける行間1行）

1.　緒　言　ゴシック・Arial　段落前後に0.5行

この原稿例では，MS Office2013 Word Windows版を使っています．　　明朝・Century 9pt行間1行

経費節約とミスプリント防止のため，著者の原稿をそのままA4判の大きさにオフセット印刷します．

2.　原稿の執筆方法 ゴシック・Arial　段落前後に0.5行

2.1　印刷方法　ゴシック・Arial

経費節約とミスプリント防止のため，著者の原稿をそのままA4判の大きさにオフセット印刷します．

* 枚数：2枚

規定の枚数に満たないもの，または超過するものは受付けません.

* 段書き：2段組み
* マージン： 上25mm，下25mm

左18mm，右18mm

* 文字・図面とも原稿はカラーでも構いませんが,モノクロで印刷されますのでご注意ください．
* 字の大きさ：9ポイントを標準とします．
* 題目：第2行の中央に書いてください．

所属・氏名：題目との間を1行あけて書いてください．連名の場合，登壇者の氏名の頭に○印をつけてください．講演申込書に書かれたものと変わらないように注意してください．

* 要旨：所属・氏名との間を1行あけて中央にお書きください．1段組み4行以内（200字以内）
* 本文：
* 次の3項目を必ず盛り込んでください。

研究の目的・意義，(2)研究の方法，(3)研究の結果とその意味．

* 紙面の大部分を図面や数式に使い，当日講演で説明するような書き方や，「……詳細は当日の発表にゆずる」，「……については当日述べる」などの表現は避けてください．
* 速報的なものでも，構成はできるだけ上記に従ってください．もちろん原稿執筆時点以後の研究の進展を当日つけ加えて発表することは歓迎いたします．

　下マージン

　27mm

* 講演を聴講しない人にも研究内容が理解できるように，構成，図面の選択など，十分に検討してください．
* 図・表：本文とともに枠内に書き込んでください．（あるいは貼り込んでください．）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

3.　図表

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○



図1　精密工学会マーク明朝・Century 9pt　行間12pt

本文との間　前後に0.5行

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

3.　締切日の厳守

締切日（6月13日）までに必ず着信するように送付してください．

* E-mailでの受付  
  PDFファイル（プレス品質を推奨）  
  Wordファイル（当方Word2013使用）  
  のどちらか、都合に合わせてお選びください。  
  アドレス　：　jspe\_kansai@jspe.or.jp

4.　その他

* 抜刷は配布いたしませんのでご了承下さい．
* 講演論文とは，講演会のために書かれた論文であり，校閲を経ていない点で学会誌に掲載される論文とは区別されます。

5.　結　言

本研究では，次のような結果を得た．

1. MSWordによる電子原稿サンプルを作成した．
2. 精密工学会ホームページにより公表した．

参考文献

1. 精密工学会：原稿作製要領（A4判原稿），精密工学会誌, 68, 5 (2002) 744.
2. T. Seimitsu et al.: Writing Manual, Journal of JSPE, 68, 5 (2002) 744. 明朝・Century 8pt

最終ページに余白が出る場合は，本文を２段均等に分け，下段２段を通して余白にする．